

報道関係各位

2021年5月21日
株式会社クロス・マーケティング

30年以上に及ぶ生活者の定点データをTableauに搭載 「CORE BI」提供開始

—生活者意識データと、公的統計データの分析をより自由にし、インサイト発見へ—

株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹 以下「当社」）は、当社独自の研究データ「生活者総合ライフスタイル調査システム」（以下、「CORE」）をTableau※1に搭載、ダッシュボード「CORE BI」として2021年4月より提供を開始※2しました。これにより、30年以上に及ぶ生活者の意識データと公的統計データの自由な集計および可視化が可能となり、生活者の意識・価値観の傾向把握にお役立ていただけます。

- ※1 世界最大のシェアを誇るBusiness Intelligenceツール
- ※2 ご利用は有料です。



■ COREとは

1986年から、首都圏在住の男女3,000人を対象に毎年実施している「生活者総合ライフスタイル調査」。家族構成や年収などのデモグラフィックデータに加え、「生活全体の力の入れ方・満足度」などの500項目以上の生活意識・行動項目を聴取。訪問・郵送による調査であり、ITリテラシーの有無を問わないため、サンプルの偏りがなく、統計的に多様な角度からの分析ができます。

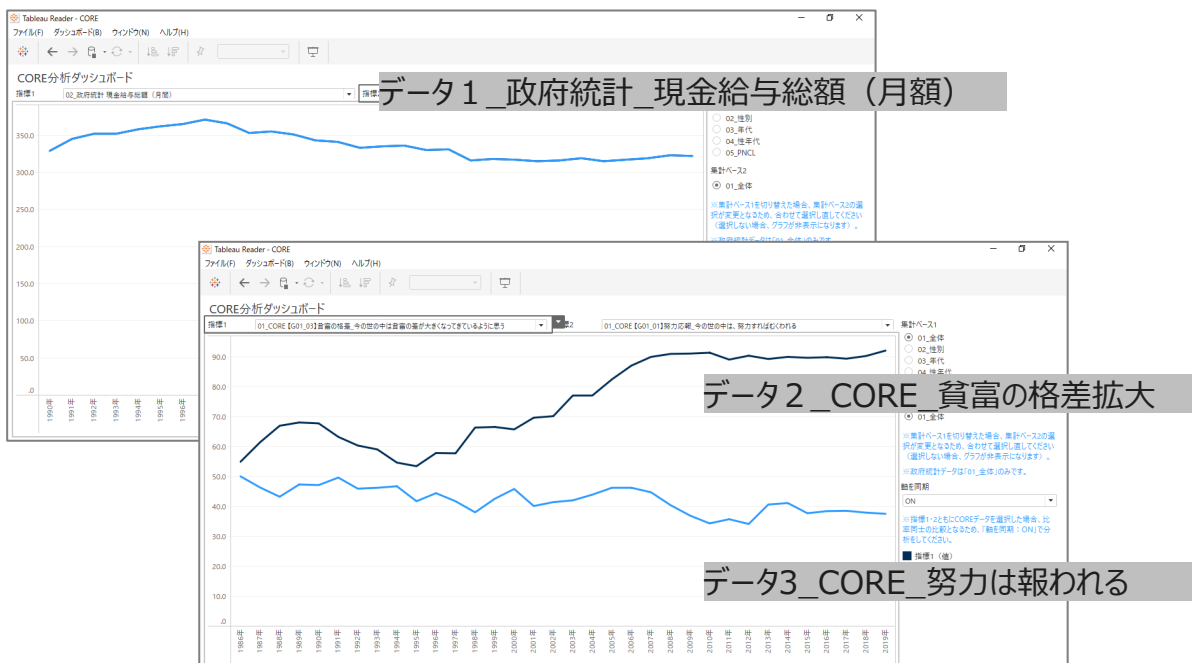
■ CORE BIとは

今回ご提供を開始した「CORE BI」は、30年以上に及ぶCOREデータと、公的統計データをTableauに搭載した、生活者総合ダッシュボード。たとえば、平均給与額と生活者の意識の関係など、様々な分析を直感的操作で可視化し、より簡単に生活者インサイト発見にお役立ていただけます。当社保有のデータだけでなく、お客様保有の時系列データの追加搭載など、カスタム対応も可能です。

◆詳細情報は弊社ホームページに掲載しています。https://www.cross-m.co.jp/original_method/core/

CORE BIでデータの関係性をシミュレーション

※Tableau readerでは閲覧のみ、有料にてデータ出力にも対応可能



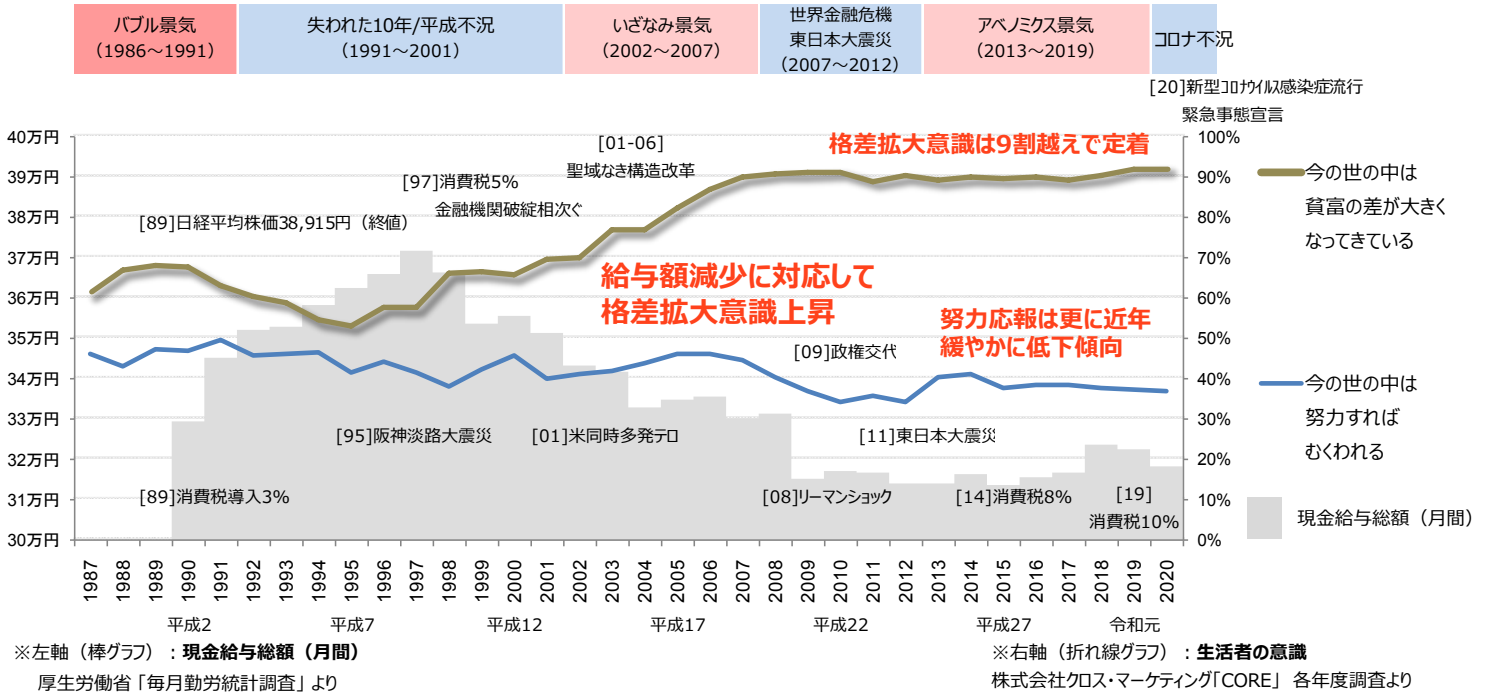
■ 活用事例（一例）

大きな社会の流れと生活者意識データを時系列データで重ねてみると、ある程度動かないもの、社会的なきっかけでデータが増減するものなどが見て取れます。世の中の移り変わりをデータで可視化し、生活者の意識・価値観の傾向を把握するのにお役立ていただけます。

＜活用イメージ＞ 平均給与額 と 生活意識（格差拡大／努力応報）の分析

※CORE BIで入手したデータに年表を加えて、世の中の動きをより分かりやすく

調査実施時期 1987年～2020年各10月 各年n=3,000



■ 生活者総合ライフスタイル調査システム（CORE） 調査概要

調査手法：訪問・郵送併用の自記入式留置調査

調査地域：首都圏40km圏

調査対象：2002年まで18～69歳、2003～2012年18～74歳、2013年以降18～79歳男女個人

サンプリング方法：地区町村人口に基づく確率比例抽出で200地点を抽出し、地点内では住宅地図を用いたエリアサンプリング

調査実施期間：各年 10月実施（1986年より実施）

有効回答数：3,000サンプル（人口構成比に合わせて、性×年代別を割付）

設問項目数：約500項目

【会社概要】

会社名：株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>

所在地：東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F

設立：2003年4月1日

代表者：代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹

事業内容：マーケティングリサーチ事業

◆本サービスに関するお問い合わせ先◆

担当：リサーチソリューション本部 COREプロジェクトチーム

E-mail：core-info@cross-m.co.jp

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため在宅勤務を実施しています。お問い合わせはメールでいただけますようお願い申し上げます。

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当：マーケティング部 TEL：03-6859-1192 FAX：03-6859-2275

E-mail：pr-cm@cross-m.co.jp